

# 資金収支計算書

〔 自 平成20年4月 1日  
至 平成21年3月31日 〕

(単位:千円)

1 経常的収支の部	
人件費	7,124,043
物件費	5,558,115
社会保障給付	5,235,153
補助金等	4,681,471
支払利息	1,236,952
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	2,800,369
その他支出	336,826
支 出 合 計	26,972,929
地方税	17,710,494
地方交付税	10,162,128
国県補助金等	4,373,588
使用料・手数料	1,085,128
分担金・負担金・寄附金	409,267
諸収入	370,041
地方債発行額	2,269,793
基金取崩額	463,612
その他収入	1,358,592
収 入 合 計	38,202,643
経常的収支額	11,229,714

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	5,929,323
公共資産整備補助金等支出	1,774,152
他会計等への建設費充当財源繰出支出	216,011
支 出 合 計	7,919,486
国県補助金等	1,469,033
地方債発行額	3,938,900
基金取崩額	677
その他収入	685,528
収 入 合 計	6,094,138
公共資産整備収支額	△ 1,825,348

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	12,400
貸付金	688,131
基金積立額	1,418,086
定額運用基金への繰出支出	0
他会計等への公債費充当財源繰出支出	2,944,796
地方債償還額	6,660,063
長期未払金支払支出	0
支 出 合 計	11,723,476
国県補助金等	0
貸付金回収額	774,006
基金取崩額	0
地方債発行額	950,000
公共資産等売却収入	27,477
その他収入	779,868
収 入 合 計	2,531,351
投資・財務的収支額	△ 9,192,125

翌年度繰上充用金増減額	0
当年度歳計現金増減額	212,241
期首歳計現金残高	816,208
期末歳計現金残高	1,028,449

※1 一時借入金に関する情報

- ① 資金収支計算書には一時借入金の増減は含まれていません。
- ② 平成20年度における一時借入金の借入限度額は8,000,000千円です。
- ③ 支払利息のうち、一時借入金利子は31,840千円です。

※2 基礎的財政収支(プライマリーバランス)に関する情報

収入総額		46,828,139
地方債発行額	△	7,158,693
財政調整基金等取崩額	△	389,064
支出総額	△	46,615,891
地方債償還額		7,865,175
財政調整基金等積立額		389,064
基礎的財政収支		918,730

## 4 資金収支計算書

### 1 資金収支計算書とは

資金収支計算書は、1会計年度における資金の増減を表す財務書類である。行政活動を金銭（キャッシュ）の流れ（フロー）から見たもので、年度当初と年度末の資金の増減を示します。表中、活動区分に応じて、3つに区分し、経常的収支の部で生じた黒字額で公共資産整備の部と投資・財務の部の赤字額を埋めるという関係になります。経常的収支の黒字額よりも公共資産整備収支と投資・財務的収支の赤字額が大きい場合は、年度当初にあった歳計現金が減少することになります。

### 2 用語解説

#### (1) 経常的収支の部

経常的に行われる行政活動から発生するキャッシュフローで、支出は人件費、物件費、扶助費等で収入は市税、地方交付税等です。

#### (2) 公共資産整備収支の部

固定資産取得の際の国県支出金、地方債等のキャッシュフロー

#### (3) 投資・財務的収支の部

投資・貸付にかかる収支、基金の積立、取崩、地方債の発行、償還による収支などのキャッシュフロー

### 3 資金収支計算書の概要

経常的収支の部の支出では、金額の大きい順に、人件費約71億円、物件費約56億円、社会保障給付約52億円などとなっており、合計で約270億円の経常的支出となっています。一方、収入については、地方税約177億円、地方交付税約102億円、国庫補助金等約44億円などとなっています。なお、地方債発行額については、資本形成に関与しない臨時財政対策債等の額です。また、経常的収支額は約112億円の黒字となっており、この黒字分が公共資産整備収支の部や財務的収支の部の収支不足に充てられます。公共資産整備の部については、約79億円の支出があり、この財源には地方債や国県補助金が充てられたが、公共資産整備収支額は、約18億円の赤字となり、この不足額を経常的収支額（一般財源）により補てんしています。

投資・財務的収支の部では、地方債の償還額が支出の主なものとなっています。これに対し、大きな収入項目がないことから、投資・財務的収支額は約92億円の赤字となり、この不足額についても経常的収支額（一般財源）で補てんしています。